平成２９年6月８日

宗教法人　阿蘇神社

重要文化財「楼門」の災害復旧工事について【進捗状況】

平素より当神社の災害復旧事業にご理解ご支援を頂き厚く御礼申し上げます。

さて、昨年１１月に着手し、平成２９年１月から本格的な解体格納工事に入りました楼門の復旧工事につきまして、去る３月２日、報道陣への公開を通じ一時的に進捗状況をお知らせしましたが、このたび２階（上層）部分の解体を終えましたので、別添のとおり経過報告いたします。

なお、解体格納工事は、安全性の確保に加え、文化財の価値を損なわないよう細心の注意を払いながら、慎重かつ丁寧に進めております。ご迷惑をおかけいたしますが、引き続きご協力くださいますようお願い申し上げます。

記

１，報告内容　楼門解体格納工事

２，報告の期間　平成２９年１月から５月まで

以上

解体前

解体開始前の様子です。

2階屋根解体中①

2階屋根銅板葺を、上から順に解体していきました。
銅板葺を解体しつつ、屋根の骨組も解体していきます。

2階屋根解体中②

2階部分の屋根の解体が進むと、太い材料でできた骨組があらわになってきました。

2階屋根解体中③

銅板葺の下地を解体していくと、軒廻りの骨組も見えてきました。

2階屋根解体中④

軒廻りの材料を解体し、屋根は太い骨組を残すところとなりました。
これらはクレーン車を用いて解体を行います。

2階解体完了

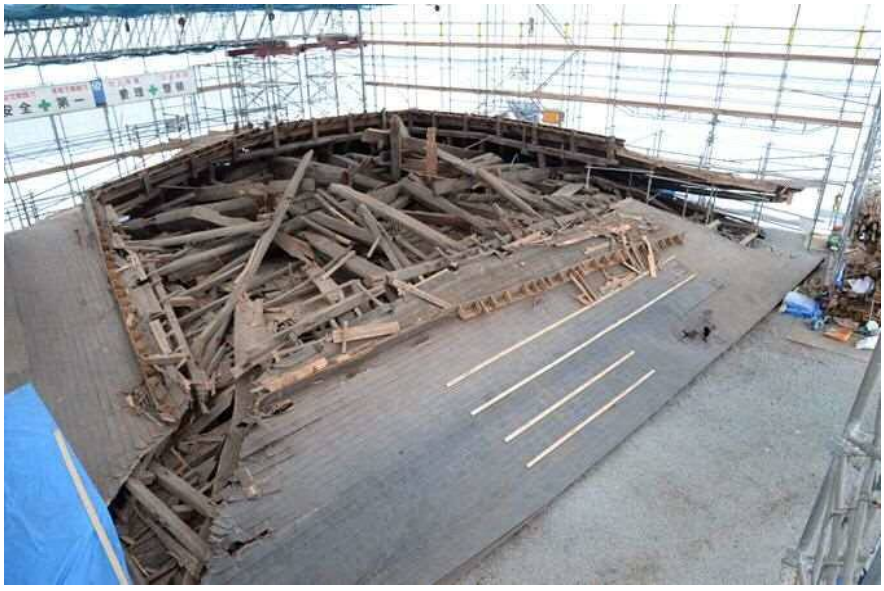
屋根を解体したのち、残りの2階の材料を解体しました。
これで2階の解体が完了しました。

2階屋根軒廻り・骨組解体中

銅板葺の解体が完了し、次に軒廻りや、梁・桁・隅木といった骨組の解体を行います。

2階屋根解体完了

屋根骨組の解体が完了し、2階の倒壊状況があらわになりました。
柱は写真手前方向に倒れ、写真中央に見える床板もばらばらに外れてしまっています。



2階解体完了

残りの2階の材料の解体を行い、2階の解体が完了しました。
写真中央では、1階屋根の骨組の倒壊状況があらわになっています。
その周りを囲うように1階屋根面が倒壊しています。
これらも順次解体していきます。

解体前

解体開始前の様子です。

2階解体完了

2階の解体が完了しました。

阿蘇神社災害復旧現況図
（平成 29 年 6 月現在）

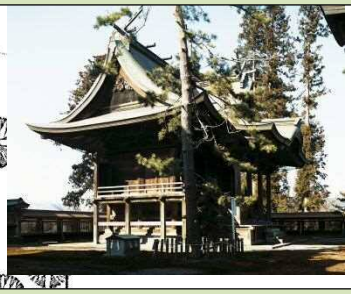
1，国県市補助事業対象

2，阿蘇神社自費事業対象

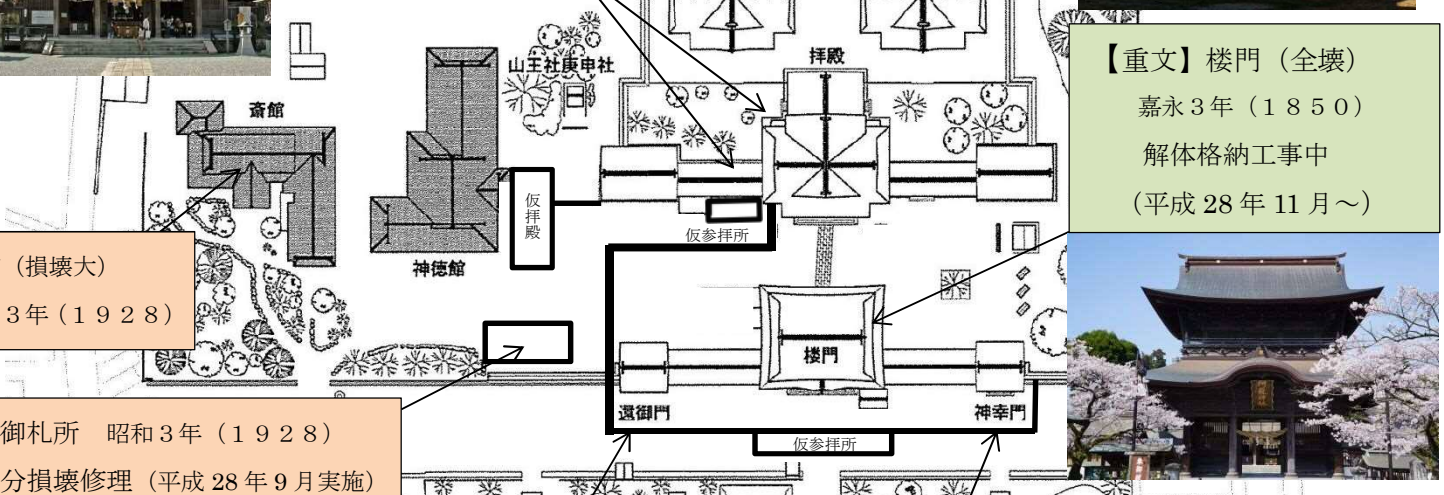
【重文】三の神殿
天保１４年（１８４３）
部分解体修理中
（平成 28 年 12 月～）

【重文】一の神殿
天保１１年（１８４０）
（部分解体修理予定）

【重文】二の神殿　天保１３年（１８４２）
部分解体修理中（平成 29 年 5 月～）



拝殿・翼廊（全壊）
昭和２３年（１９４８）
解体工事(平成 28 年 11 月実施)



【重文】楼門（全壊）
嘉永３年（１８５０）
解体格納工事中
（平成 28 年 11 月～）

斎館（損壊大）
昭和３年（１９２８）

御札所　昭和３年（１９２８）
部分損壊修理（平成 28 年 9 月実施）
※楼門脇から移動

【重文】還御門
嘉永２年（１８４９）
部分解体修理中
（平成29年5月～）

【重文】神幸門
嘉永２年（１８４９）
部分解体修理中
（平成29年5月～）

阿蘇神社災害復旧事業　進捗状況

1，重要文化財建造物６棟は国・県・市補助による災害復旧工事（第１期、３億１５３７万円）が着工。
総事業費（概算）９億３０００万円（平成３４年度までの見込み）

2，その他の建造物（拝殿・翼廊・神饌所・神輿庫・斎館・御仮屋など）は復旧に向けた調査に着手。
総事業費（概算）８億円